

ふれあい つうしん

No.144

2024.1.26



社会福祉法人
板柳町社会福祉協議会

令和6年1月1日に発生した
能登半島を震源とする地震で
被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

Things we can do now

～ 私たちが今できる事～

義援金受付中

みなさまのご協力ありがとうございます

日赤活動資金

活動資金の主な使い道は、次のとおりです。

- 国際救援活動
- 災害等資金積立
- 赤十字奉仕団の養成費
- 社会福祉活動事業費
- 災害救護訓練や看護師養成費用
- 市町村での赤十字活動費
- 献血推進
- 救急法等の講習普及費 など

合計 1,857,100円

町名	合計金額	町名	合計金額	町名	合計金額
川端町	24,000円	小幡	47,500円	狐森	41,000円
仲町	20,500円	石野	23,500円	高増	90,000円
表町	67,500円	野中	35,500円	柏木	55,500円
博労町	41,000円	広栄町	61,000円	牡丹森	52,000円
大町	13,000円	双葉町	19,500円	滝井	29,000円
田中錦町	115,000円	文京町	68,500円	館野越	33,500円
東雲町	17,500円	飯田	63,000円	上常海橋	18,500円
実町	31,000円	横沢	60,000円	范子	16,500円
栄町	135,000円	太長	93,000円	下常海橋	70,500円
大蔵町	62,000円	深味	48,500円	沖	13,000円
常盤町	26,500円	いたや町	42,000円	夕顔関	32,000円
三千石	58,000円	大俵	41,000円	五林平	46,500円
赤田	29,000円	日新	18,300円	四ツ谷	9,000円
掛落林	47,800円	五幾形	41,000円		

社協会費

社協会費は、地域福祉向上のための活動に使われます。会費充当の主な事業は次のとおりです。

- ひとり暮らし昼食事業
- 配食サービス事業
- ふれあい相談所開設事業
- 福祉安心電話事業、福祉用具貸付事業
- たすけあい貸付事業等低所得者対策 等

合計 2,038,200円

町名	合計金額	町名	合計金額	町名	合計金額
川端町	24,500円	小幡	40,000円	狐森	41,500円
仲町	31,000円	石野	23,000円	高増	89,500円
表町	67,000円	野中	36,500円	柏木	54,000円
博労町	38,000円	広栄町A	44,500円	牡丹森	45,500円
大町	26,500円	広栄町B	32,200円	滝井	32,000円
田中錦町	120,000円	双葉町	21,000円	館野越	37,000円
東雲町	20,000円	文京町	77,500円	上常海橋	19,000円
実町	31,500円	いたや町	137,000円	范子	15,500円
栄町A	48,500円	飯田	61,000円	下常海橋	52,000円
栄町B	116,000円	横沢	72,000円	沖	11,500円
大蔵町	75,000円	太長	91,000円	夕顔関	31,500円
常盤町	25,500円	深味	49,000円	五林平	45,000円
三千石	63,500円	大俵	44,000円	四ツ谷	10,000円
赤田	30,500円	日新	16,500円		
掛落林	48,500円	五幾形	43,000円		

ふだんのくらしを しあわせに ~東小~

1・2年生は、いたやなぎ昔っこの会の皆さんをお迎えし、津軽弁を交えた地域の昔話を聞きました。「この津軽弁わかる？」などの交流が生まれ、楽しい時間となりました。

3年生は手話を学びました。簡単なあいさつを学んで、一人ひとり指文字で自己紹介をしました。最後は手話で歌を歌い楽しく手話を学び、耳が聞こえない人とのコミュニケーションについて学びました。

4・5年生はパラスポーツの体験と高齢者疑似体験を行いました。ポッチャでは大変白熱した試合をしました。



ポッチャ体験



高齢者疑似体験



赤い羽根街頭募金

6年生は赤い羽根共同募金の街頭募金を行いました。「赤い羽根共同募金にご協力をお願いします」と大きな声で呼びかけました。

西目屋村赤十字奉仕団・板柳町赤十字奉仕団合同研修会

西目屋村赤十字奉仕団と板柳町赤十字奉仕団の合同研修会が、11月17日板柳町公民館和室において開催されました。

講義の時間では、「災害に備えて（避難所開設・運営）」と題し、NPO法人青森県防災士会青森支部長三浦一郎様からお話を頂きました。実技の時間では日本赤十字社青森県支部の職員による救急法を行い、胸骨圧迫やAEDの使い方について学びました。

両奉仕団にとって合同の研修会は初めてのことではじめは緊張する様子も見られましたが、交流を深めていくうちに会話も弾んでいました。今後も定期的に合同研修会を開催し、有事の際もスムーズに連携しやすい環境づくりに努めていきます。

板柳町赤十字奉仕団では、新たな団員を募集しています。気軽に社会福祉協議会へお問い合わせください。



講演する講師の三浦さん



救急法

つながる西北五地区母子寡婦福祉学習・交流会

母子寡婦福祉学習・交流会が10月24日板柳町公民館で開催されました。

地域におけるひとり親家庭及び寡婦等の福祉の向上と、市町村母子寡婦福祉会の活性化を図ることを目的としており、約40名が参加しました。

はじめに行った意見交換では、お互いの悩みやコロナ禍での活動で工夫したことを共有しました。青森県母子寡婦福祉連合会の秋田谷会長より、「コロナ禍でなかなか思うように活動できない日が続いたが、こうして皆さんの顔を見ながらお話出来ることの大切さを改めて実感した。今後の活動に期待している。」とお話がありました。

次は、「笑ってしゃべってみんなで体操」と題し、青森県長寿社会振興センターより講師をお迎えし、体操やじゃんけん列車で盛り上がり、親睦を深めました。

板柳町母子寡婦福祉会では、会員を募集しております。詳しくは板柳町社会福祉協議会までお問い合わせください。



ゲームで交流を深める様子

第47回青森県身体障害者福祉大会・つながる大会



表彰された長谷川さん(中央)

第四十七回青森県身体障害者スポーツ大会が、九月二十四日につがる市生涯学習交流センター「松の館」にて開催されました。板柳町身体障害者福祉会の長谷川賢さんが、第二十四回障害者スポーツ大会に青森県代表として参加し優秀な成績を収めたことで表彰されました。長谷川さんは「今後も全国大会へ参加したい」と意気込んでおります。板柳町身体障害者福祉会では様々な活動をしています。興味のある方はぜひ入会しませんか？詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。

善意の窓

- あぷるスタッフ…………… 8,500円
- 板柳町商工会…………… 63,000円
- 赤田 三上アグリ…………… 靴下カバー

(敬称略受付順)

三上アグリさんは、一人暮らしのふれあい昼食会の参加者へ手作りの靴下カバーをプレゼントしています。今年で17回目となりました。



社会福祉実習

8月21日から9月21日まで弘前学院大学3年の葛西美輝さん、11月7日から11月22日まで青森県立保健大学2年の会津遥斗さんが、社会福祉実習を行いました。

弘前学院大学3年 葛西美輝

今回、実習に来る前は初めての長い実習ということもあり、緊張していましたが、職員の皆様や地域の方々から温かく受け入れてくださったことで、とても良い実習にすることができました。板柳町社会福祉協議会で行っているふれあいデイや配食サービス等の様々な事業を体験することにより、大学の講義だけでは分からなかった実際の現場について学びを深めることができました。この経験を生かし一人ひとりに寄り添い、地域で活躍できるような社会福祉士を目指したいと思います。一か月間ありがとうございました。



青森県立保健大学2年 会津遥斗

今回の実習では、板柳町社協の役割、ソーシャルワーカーに必要な知識や技術について学ぶことができました。ふれあいデイやふれあい昼食会、東小学校での高齢者疑似体験などにも参加させていただき、地域の方々ともたくさん関わることができました。今回の実習で経験したことをこれからの大学生活や将来に活かしていきたいです。



社会福祉法人 板柳町社会福祉協議会

〒038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字実田11の7 TEL(0172)⑧72-1161 FAX(0172)72-1170
ホームページ: <http://www.itayanagishakyo.or.jp> 印刷:(株)久保田印刷 TEL 0172-72-1212/FAX 0172-72-1213